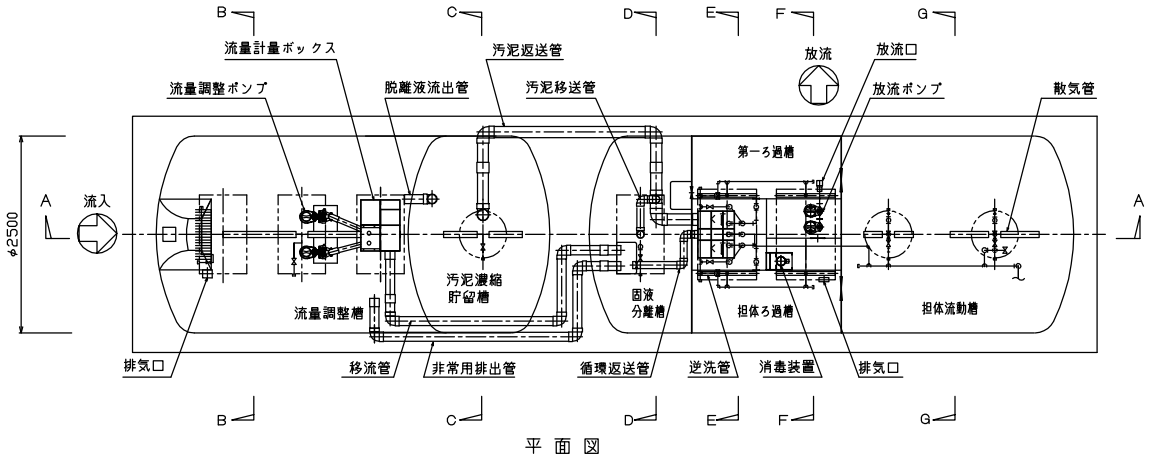
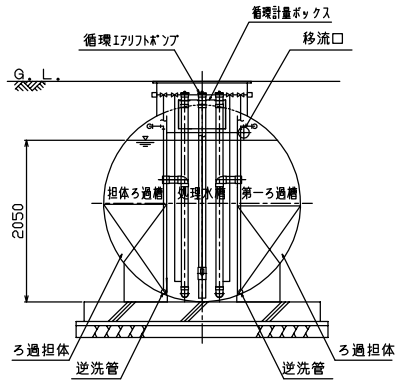
型式適合認定書別添仕様書及び図面

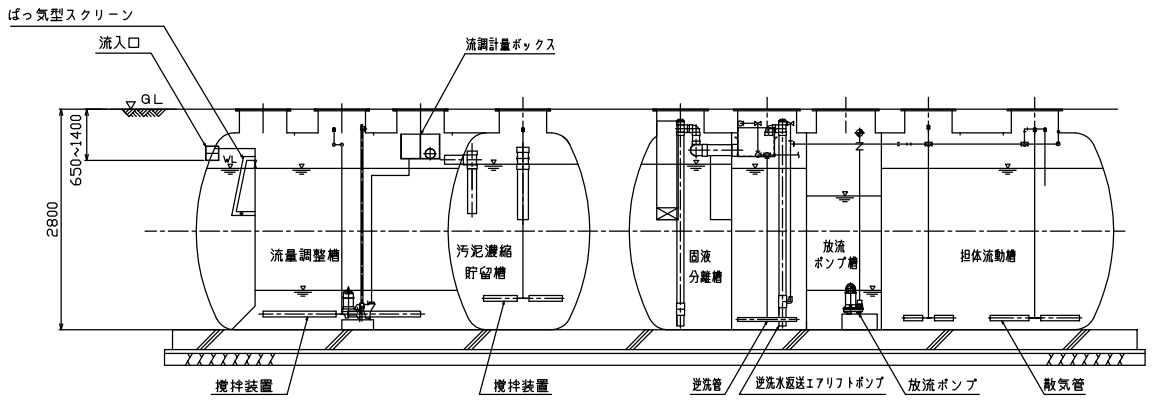
建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定による流量調整型担体流動ろ過循環方式
【大臣認定番号（認定年月日）：DW3N-0169（平成30年6月12日）】



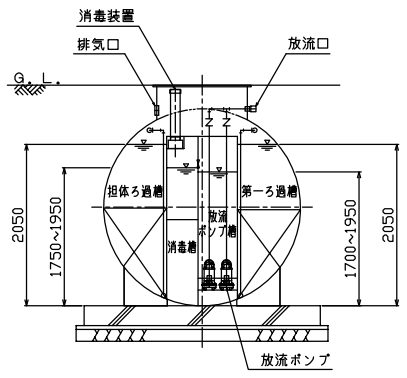
平 面 図



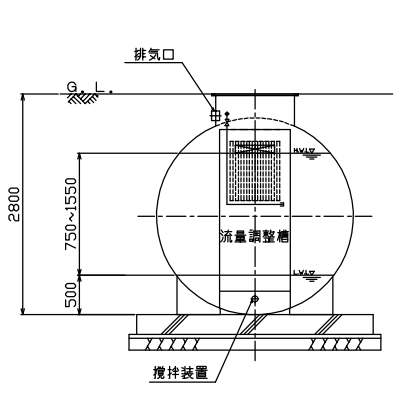
E－E断面図



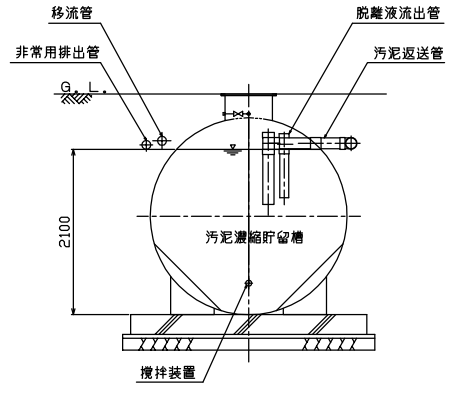
A－A断面図



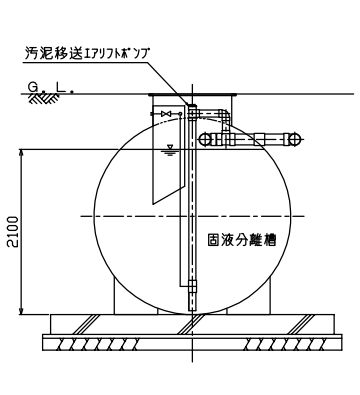
F－F断面図



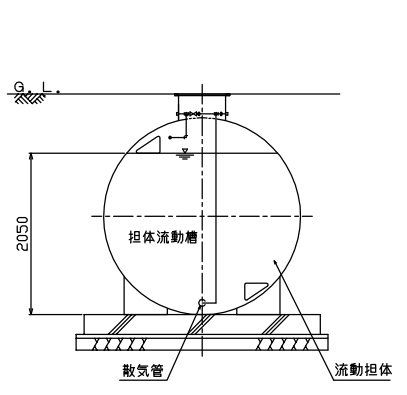
B－B断面図



C－C断面図



D－D断面図



G－G断面図

会社名	株式会社 クボタ 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号 電話06-6648-2111		
型　式	クボタ浄化槽 KRZ－2A1		
型式適合認定番号	型01Caf0a1024533	認定年月日	平成30年6月12日
処理対象人員	51人～500人	日平均汚水量	5.1～127.5m³/日
流入ＢＯＤ	50～450mg/L		
放流水質	大臣認定による性能：BOD 20mg/L 以下,COD 30mg/L 以下 SS 10mg/L 以下,pH 5.8～8.6 大腸菌群数3,000個/cm³以下 n-ヘキサン抽出物質 20mg/L 以下		

仕様表

有効容量 (m³)	ばっ気型スクリーン	0.590～1.595		
	流量調整槽	3.041～31.411		
	固液分離槽	4.583～8.104		
	第一ろ過槽	1.000～5.125		
	担体流動槽	2.984～30.978		
	担体ろ過槽	1.000～5.125		
	処理水槽	0.712～3.702		
	消毒槽	放流ポンプ槽付き 0.238～1.394、自然放流 0.266～1.558		
	汚泥濃縮貯留槽	5.364～16.636		
寸法 (mm)	ばっ気型スクリーン	幅900	長さ750～1100	深さ1000～1750
	流量調整槽	幅2500	長さ2000～9100	深さ750～1550
	固液分離槽	幅2500	長さ1200～2000	深さ2100
	第一ろ過槽	幅800	長さ800～4100	深さ2050
	担体流動槽	幅2500	長さ850～7350	深さ2050
	担体ろ過槽	幅800	長さ800～4100	深さ2050
	処理水槽	幅900	長さ350～2050	深さ2050
	消毒槽	放流ポンプ槽付きW400、L350～2050×H1750 自然放流W400、L350～2050×H1750～1950		
	汚泥濃縮貯留槽	幅2500	長さ1600～4350	深さ2100

材料及び機械設備の仕様	く　体		材質:FRP(ガラス繊維強化プラスチック)板厚8mm以上		
	仕切板		材質:FRP(ガラス繊維強化プラスチック)板厚6～9mm以上		
	第一ろ過槽 担体	形　状	中空円筒状		
		材　質	PPまたはPE		
		寸　法	φ14～16×L15mm		
		比表面積	380m²／m³		
	担体流動槽	BOD容積負荷	1.00kg／m³・日以下		
		充填率	30～55%		
	担体	形　状	角形スポンジ状		
		材　質	PUまたはPVA		
		寸　法	20□×20mm		
		比表面積	300m²／m³ 以上		
	担体ろ過槽 担体	形　状	中空円筒状		
		材　質	PPまたはPE		
		寸　法	φ14～16×L15mm		
		比表面積	380m²／m³		
	消毒槽	薬剤接触時間	15分以上		
		薬剤の種類と接触方法	塩素錠剤・浸漬式		
		薬剤の貯留日数	14日以上		
	送風機	形　状	ダイアフラム式またはロータリー式またはルーツ式		
		吐出風量	60～4,280L／分		
		台　数	2台以上		

流入管・移流管 放流管	材質	PVC (硬質塩化ビニール)	内径(mm)	40～200
汚泥移送管・エアリフト管 送気管		PVC PVC		40～150 13～100
マンホール		鋳鉄／レジンコンクリート プラスチック(PP/FRP)		600
チェッカープレート		縞鋼板／鋳鉄／FRP		600×1000 600×1200 750×1150 750×1650 1200×1200

注)寸法の単位はmm、容量の単位はm³とする
注)容量、寸法については範囲で示す。
注)「深さ」は有効水深とする。

特記事項

・振動・騒音・防音対策は必要に応じて行う。
・流入・設置条件によりオプション槽を組み合わせる。
・オプション槽とは原水ポンプ槽、油水分離槽、汚水貯留槽、処理水貯留槽、水中ブロワ槽などを言う。
・必要に応じて消泡装置を設ける場合がある。
・非常用排出管は移流管と合流し、固液分離槽へ配管する場合がある。

保守点検の頻度:1回／2週　以上
清掃の頻度　　:1回／2週　以上